

# 授業科目 支援機器 III (福祉住環境)

【担当教員名】  妻木 尚美	対象学年	3	対象学科	義肢
	開講時期	前期	必修選択	必修
	単位数	1	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	○		
【概要・一般目標：G10】 少子高齢化が進んでいる現在、わが国の福祉・介護問題は深刻化している。介護保険制度のサービスでは福祉用具の貸与・購入および住宅改修も導入されており、その利用度は年々増加している。そこで住環境整備の側面から高齢者や障害者の生活支援にあたる住環境コーディネートの基礎を学び、高齢者や障害者が安全で快適な生活を送るための住環境を提案できる力を修得する。バリアフリー対策が重用される福祉・医療施設で求められている人材を育成する。				
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 住環境における福祉の考え方と住環境整備の意義を理解する。 2. 福祉住環境コーディネーターの役割と機能を理解する。 3. 高齢者や障害者の疾患と障害特性、介護と住環境における具体的な活用を理解する。 4. 福祉機器・用具の基本性能と、住環境における具体的な活用を理解する。 5. 福祉住環境コーディネータ事例を調べる。 6. 福祉住環境コーディネーター3級・2級検定試験合格を目指す。				
回数	授業計画・学習の主題		SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	高齢者や障害者を取り巻く社会状況と福祉住環境コーディネーターの意義		1, 2, 6	講義と質疑応答, 演習
2	障害のとらえ方と自立支援のあり方		3, 6	講義と質疑応答, 演習
3	高齢者に多い疾病別にみた福祉住環境整備		3, 6	講義と質疑応答, 演習
4	障害別にみた福祉住環境整備		3, 6	講義と質疑応答, 演習
5	相談援助の考え方と福祉住環境整備の進め方		1, 2, 6	講義と質疑応答, 演習
6	福祉住環境整備の共通基本技術		4, 5, 6	講義と質疑応答, 演習
7	生活行為別福祉住環境整備の手法		4, 5, 6	講義と質疑応答, 演習
8	福祉住環境整備の実践に必要な基礎知識		4, 5, 6	講義と質疑応答, 演習
9	在宅生活における福祉用具の活用		4, 6	講義と質疑応答, 演習
10	バリアフリーとユニバーサルデザイン		1, 6	講義と質疑応答, 演習
11	安心できる住生活とまちづくり		1, 6	講義と質疑応答, 演習
12	福祉住環境コーディネータ事例(1)		5, 6	講義と質疑応答, 演習
13	福祉住環境コーディネータ事例(2)		5, 6	講義と質疑応答, 演習
14	まとめと演習		6	演習と解説, 質疑応答
15	達成度確認試験			
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	福祉住環境コーディネーター 短期合格テキスト	2級 渡辺光子	日本能率協会 マネジ メント センター	2012・2,200円+税
参考書	福祉住環境コーディネーター検定試験 2級公式テキスト改訂版	東京商工会議所 編		2011・4,500円+税
	福祉住環境コーディネーター 短期合格テキスト	3級 渡辺光子	日本能率協会 マネジ メント センター	2012・1,600円+税
その他の資料	適宜プリント配布			
【評価方法】 出席・学習態度：10% 小テスト：40% 達成度確認試験：50%		【履修上の留意点】 講義と演習を並行して行うため、講義内容は集中して吸収し、積極的に質疑応答に参加すること。		